



協働している

みなさんを

ご紹介！

これまで、市内7か所にある各青少年活動センターや若者サポートステーション、子ども・若者総合相談窓口の取り組みや事業については多数取り上げてきました。しかし、私たちの活動や取り組みはそれだけではなく、たくさんのお客様との協働によって、すすめることができたり支えられたりしています。より幅広く、多様な若者を取りこぼすことなくサポートしていくためには、私たちの力だけではなく、様々な特色がある関係団体との連携・協働は欠かせません。

今回、改めて、私たち京都市ユースサービス協会と協働している団体・活動のご紹介をすることで、私たちの「協働」についても知っていただきたいと思っています。

実は、こんなステキな団体の皆さまと一緒にいろんなことに取り組んでいくんですよ！

京都市ユースサービス協会 事務局次長 松山 廉

当協会は、若者の育成を支援する団体です。主に、青少年活動センターや相談窓口に来る人たちを対象に事業を行い、その彼らの思いやニーズをキャッチして支援してきました。

しかし、それは京都市の若者の一部です。センターの中で待つのではなく、若者がいるところに向いて行ってかかわることは必要だと思っていますが、私たちだけでは多くのニーズ(2020年で13歳から30歳の京都市民は約29万人もいます!)をキャッチして、それらに対応するのは困難です。

今後さまざまな団体と連携し、「ユースサービス」をひろげていきます。

これからもこのような紙面を通じて、私たちと協働していただいている方々を紹介して、若者支援の広がりをご報告できればと思っています。



## 認定NPO法人 DXP

WEBサイト：<https://www.dreampossibility.com/>  
ユキサキチャット：<https://www.dreampossibility.com/yukisakichat/>

どんな団体ですか？

1999年に前身団体である「山科醍醐親子の劇場」から名称を変え、より多くの子どもとともに活動を創るべく「山科醍醐こどものひろば」としてスタート。地域に住む全ての子どもたちが豊かに育つ社会環境や文化環境を充実させ、子どもたちの伸びやかな育ちに寄与できる団体を目指し活動しています。「子どもを真ん中に」をキーワードに、生の舞台を楽しむ活動や異年齢集団の中での子どもたちの体験活動作り、子どもと家族が自由に集える居場所づくり、子育て相談、子どもの貧困対策などを実施しています。また、ただ子どもと直接関わる活動だけではなく、より地域と子どもが結びつく、また子どもを通じて地域に何ができるのか考え、地域社会の活性化にも取り組んでいます。

ユースサービス協会との関わりについて教えてください！

京都市ユースサービス協会さんとは、子ども若者に関わる団体として様々な場面で一緒にいることがあります。協会主催であるユースシンポジウムに登壇したり、ブース出展をしていたりもしています。また、山科

どんな団体ですか？

認定NPO法人DXP(ディーピー)は、10代の孤立を解決するNPOです。10代の孤立は、不登校・中退・家庭内不和・経済的困難・進路未定・無業などにより、安心できる場や所属先を失ったときに起こります。DXPは、学校とLINE相談で10代と出会い、困った時に頼れる人とのつながりをつくります。

定時制高校では、高校生と社会人が対話する授業や校内居場所事業を実施。LINE相談「ユキサキチャット」は全国から相談を受け付けています。コロナ禍では、保護者に頼れない10代へ食糧支援・現金給付の緊急支援を始めました。2012年の創業時より関わった10代は7,282名となり、全ての取り組みは寄付で運営しています。

ユースサービス協会との関わりについて教えてください！

京都市ユースサービス協会さんとは、2019年から京都市立定時制高校の校内居場所事業を協働で運営させていただいております。京都市ユースサービス協会さんの居場所づくり支援事業で培われていたノウハウと、DXPの定時制高校

最後に一言お願いします！

7月1日に新拠点に引越をしました。コロナ禍で、子どもたちが気軽に集える場所がなくなりました。また、活動に参加している「困った」を抱えている子ども、家庭も大きく影響を受けました。そこで、日常的に子どもたちが気軽に来れ、親と喧嘩して家に居づらい、温かいご飯が食べたい、お風呂に入りたいなどのニーズに応えられる場所をもつとつくってほしい、子どもたちと楽しく交流できる場で、食事支援が出来るキッチン、宿泊できるようにお風呂などの設備を有する物件に移転しました。一軒家でゴロゴロと出来るスペースもあります。近くに来たら、ぜひ寄ってみてください。

最後に一言お願いします！

に特化した校内居場所カフェのノウハウを持ち寄り、両団体の強みを活かした校内居場所事業を展開しております。

また、京都市外から京都市ユースサービス協会さんに相談に来られた方に、弊団体のLINE相談事業「ユキサキチャット」をご案内いただくなど、相談に来られた方に必要な支援を届けられるように団体間で連携しています。

10代にとって、新型コロナウイルスの影響は厳しいものです。経済的困難や家庭内不和を抱える10代にはもちろん、文化的経験や遊びなどのさまざまな機会が失われストレスを感じているという声も多く聞いています。悩みを誰にも話せず孤立している10代とつながっていくため、ぜひLINE相談事業のご紹介をお願いします。学校・行政・支援機関など専門性を持つさまざまな団体と共に、10代の孤立という課題を解決することができれば幸いです。

また、DXPの取り組みは、個人や企業からいただく寄付によって支えられています。月額寄付サポーターは、2,000名を超えました。ぜひ、月額寄付サポーターとしてDXPの取り組みに参加いただくと嬉しいですよ。

